

51 オオジシギ

(チドリ目)

Gallinago hardwickii

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: NT

種の概要

ウスリー南東部、サハリン、日本北部などで繁殖し、繁殖後はオーストラリアに渡り、越冬する。日本では北海道と本州北部で繁殖する他、春秋の渡りの時期に本州中部以南に渡来する。本州中部から九州の一部高原では繁殖するところがある。繁殖期は山地の草原に生息するが、渡りの時期には平地の草地、農耕地、湿原、河川敷にも姿を現し、ミズ類や昆虫類、貝類、草の種子などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、五島列島、男女群島、屋久島、伊豆諸島、硫黄列島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、大東諸島



写真提供: 松重和太

(性別: 不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、★洲本市、伊丹市、★宝塚市、豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、丹波篠山市、丹波市、南あわじ市、加東市、稲美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と9-11月に生息する。かつては県内各地で記録されていた。近年は県南部と北部で少数が記録される程度だったが、最近はさらに観察記録が減っている。

保護上の留意点

湿田や水を張った休耕田などの保全に加え、河口や河川敷、池沼などでの沼沢地的環境の再生が必要。渡りのコースとの関係もあるため、現在渡来が確認されている場所の保全は特に重要。